

パート・アルバイトの賃金の実態

——東京都パート・アルバイト募集時給調査より見えること

中澤 秀一

はじめに

本稿は、東京春闘共闘会議（以下、東京春闘）が2004年より実施している最賃改定後のパート・アルバイト募集賃金調査の結果をもとに、首都東京に注目して、最低賃金がパートやアルバイトとして働く非正規労働者の賃金に及ぼす影響について考察することとする。

筆者は、文部科学省の科学研究費助成事業の採択を受けて、2022年8月までに全国27都道府県でマーケット・バスケット方式による最低生計費試算調査（以下、生計費調査）を行っており、健康で文化的な生活、いわゆる普通

の生活をするために必要な費用についての研究を行っている。東京都における生計費調査は2019年に実施されており、25歳の若者が普通に生活するための費用は、表1で示されるように北区モデルで、男性＝月額249,642円、女性＝月額246,362円、世田谷区モデルで、男性＝月額259,471円、女性＝月額256,191円、新宿区モデルで、男性＝月額265,786円、女性＝月額262,506円、立川市モデルで、男性＝月額262,446円、女性＝月額259,487円、八王子市モデルで、男性＝月額240,870円、女性＝月額238,104円がそれぞれ必要であるという結果が出ている（いずれも税・社会保険料込み）。

この金額を時給換算する際に、中央最低賃金

表1 東京都最低生計費試算調査（2019年）若年単身世帯（25歳の一人暮らし）結果一覧

区名		北区		世田谷区		新宿区		立川市		八王子市	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
消費支出		179,804	176,824	188,733	185,753	194,448	191,468	191,408	188,749	171,832	169,266
食費		44,361	35,858	44,361	35,858	44,361	35,858	42,364	34,314	42,364	34,314
住居費		57,292	57,292	65,625	65,625	76,042	76,042	61,458	61,458	43,750	43,750
水道・光熱		6,955	6,780	6,955	6,780	6,955	6,780	6,955	6,780	6,955	6,780
家具・家事用品		2,540	2,703	2,540	2,703	2,540	2,703	2,631	2,820	2,643	2,867
被服・履物		6,806	5,302	6,806	5,302	6,806	5,302	6,806	5,302	6,806	5,302
保健医療		1,009	2,885	1,009	2,885	1,009	2,885	1,009	2,885	1,009	2,885
交通・通信		12,075	12,075	12,171	12,171	6,469	6,469	20,251	20,251	18,801	18,801
教養・娯楽		25,577	25,613	25,577	25,613	25,577	25,613	26,185	26,207	26,171	26,185
その他		23,189	28,316	23,689	28,816	24,689	29,816	23,749	28,732	23,333	28,382
非消費支出（所得税・住民税・社会保険料）		51,938	51,938	51,938	51,938	51,938	51,938	51,938	51,938	51,938	51,938
予備費（消費支出の10%相当）		17,900	17,600	18,800	18,500	19,400	19,100	19,100	18,800	17,100	16,900
最低生計費（月額）	税抜	197,704	194,424	207,533	204,253	213,848	210,568	210,508	207,549	188,932	186,166
	税込	249,642	246,362	259,471	256,191	265,786	262,506	262,446	259,487	240,870	238,104
最低生計費（年額、税込）		2,995,704	2,956,344	3,113,652	3,074,292	3,189,432	3,150,072	3,149,352	3,113,844	2,890,440	2,857,248
月150時間換算		1,664	1,642	1,730	1,708	1,772	1,750	1,750	1,730	1,606	1,587
月173.8時間換算		1,436	1,418	1,493	1,474	1,529	1,510	1,510	1,493	1,386	1,370
2022年最低賃金額		1,041									

審議会で用いる労働時間＝月 173.8 時間で除した場合には、1,370 ～ 1,529 円になる。ただし、次の理由からこの金額は控えめな数字であることに留意しなければならない。月の労働時間＝173.8 時間とは、盆暮れやゴールデンウイークなどの長期休みを想定しない“非人間的”な労働時間である。最賃審議会では仕事と生活のバランスがとれるような労働時間で時給換算すべきである。したがって、月の労働時間＝150 時間で換算した金額もみる必要があるだろう。そのように換算してみると、約 1,600 円から 1,700 円以上にまでなり、労働運動が掲げている要求＝最賃 1,500 円がけっして高い目標ではなく、むしろ控えめな数字であることがわかる。

しかしながら、現時点（2022 年 8 月）での東京都における最賃額は 1,041 円であり、生計費調査で想定する普通の生活からはほど遠い水準となっている。これは東京都に限ったことでなく、全国 47 都道府県どこにおいても最賃

は低すぎるのである。

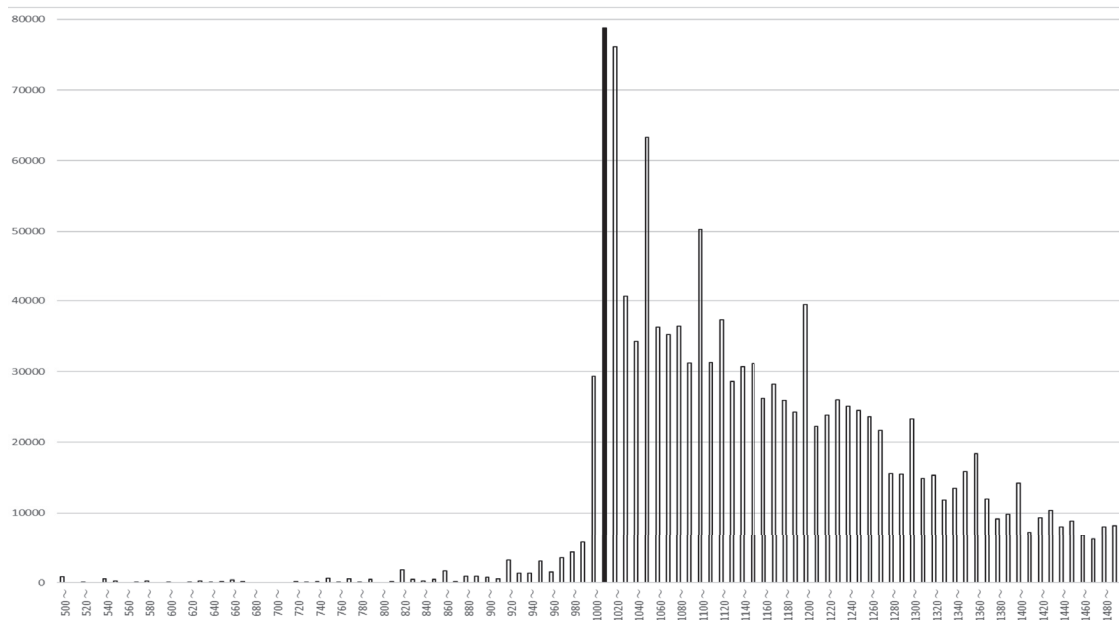
このように、最賃では普通に生活できないことは生計費調査から明らかになったが、主に労働組合員を対象とした同調査だけでは労働者の実態、特に非正規労働者の実態はなかなか把握できない。以下、東京ではたらく非正規労働者の賃金のリアルに迫ってみたい。

1 調査の概要

パート・アルバイト募集賃金調査（以下、本調査）は、東京春闘が 2004 年より連続して実施しているもので、2021 年度調査は 18 回目となる。

調査方法は、主に最低賃金が改定された直後の 10 月に新聞折り込み求人誌（「アイデム」「ユメックス」「クリエイト」「タウンワーク」等）を都内各地域から回収して、パート・アルバイトの募集時の時給や労働条件をチェックし

図 1 東京都 1 時間当たり所定内給与額階級別労働者数の分布（短時間労働者、2020 年）



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査特別集計」（注）塗りつぶし部分は、東京都の最低賃金を含む賃金帯。

たものである。なお、勤務時間帯は、居酒屋などの飲食店については、17：00 から 24：00 前後の、それ以外の職種については 9：00 ～ 17：00 を対象としている。21 年は 3,487 件のデータを集めており、これまでの累積データ数は 35,000 件を超えている。

ちなみに、厚生労働省の賃金構造基本統計調査の特別集計では、短時間労働者の時給 500 円～1,500 円における賃金の分布状況が 10 円き

ざみでその賃金帯に何人いるのかで確認できる（図 1 は 2020 年のデータ）。同年に実施された本調査の度数分布（図 2）と比較してみると、賃金構造基本統計調査では当時の最低賃金額 1,013 円付近にピークがあるのに対して、本調査では 1,100 円付近にピークがある。賃金構造基本統計調査はその時給額ではたらく労働者数の統計資料であるのに対して、本調査はパート・アルバイトを募集している事業所数の資料

図 2 パートアルバイト募集時給調査（2020 年調査）の度数分布

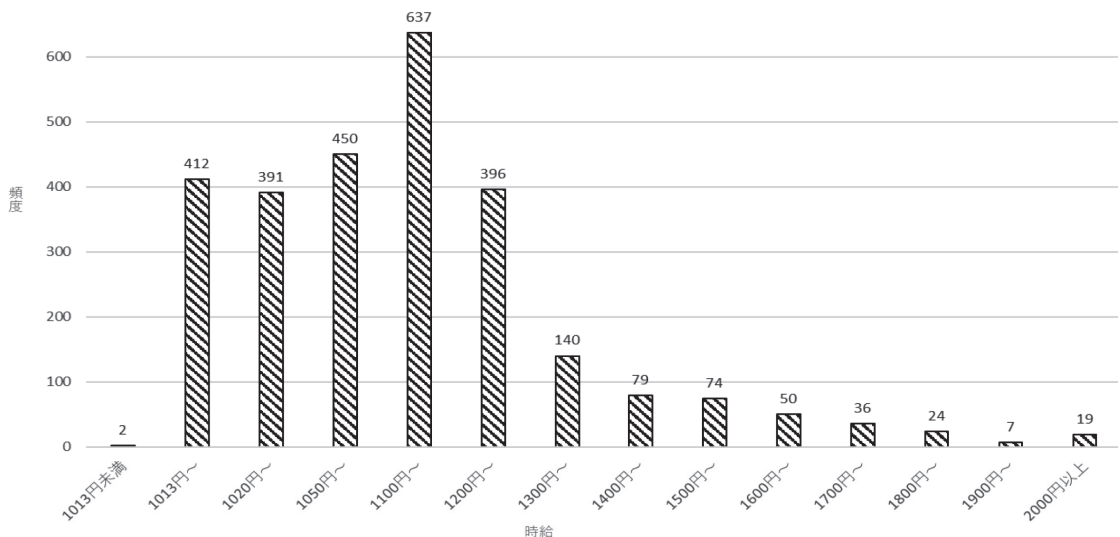


表 2 東京都内パート・アルバイト募集時給および労働条件の変化（2021 年← 2020 年）

	今年度	前年度	前年度比	
全都平均時給額	1,161	1,151	10	円
全都最低時給額	1,013	930	83	円
全都最高時給額	2,400	2,800	-400	円
全都時給最頻額	1,100	1,100	0	円
全都時給中央値	1,100	1,100	0	円
交通費あり	89.6%	89.6%	0.0	p
昇給あり	33.4%	36.2%	-2.8	p
別途手当あり	10.1%	16.3%	-6.2	p
有休あり	27.6%	25.1%	2.5	p
退職金あり	2.4%	3.4%	-1.0	p
社会保険あり	40.4%	42.2%	-1.8	p
雇用保険あり	3.0%	3.5%	-0.5	p
労災保険あり	4.0%	4.1%	-0.1	p

表 3 23 区内パート・アルバイト募集時給および労働条件の変化（2021 年← 2020 年）

	今年度	前年度	前年度比	
23区平均時給額	1,171	1,168	9	円
23区最低時給額	1,041	930	111	円
23区最高時給額	2,400	2,800	-400	円
23区時給最頻額	1,100	1,100	0	円
23区時給中央値	1,100	1,100	0	円
交通費あり	91.0%	92.0%	-1.0	p
昇給あり	31.4%	36.4%	-5.0	p
別途手当あり	10.8%	15.7%	-4.9	p
有休あり	31.4%	24.8%	6.6	p
退職金あり	2.4%	2.5%	-0.1	p
社会保険あり	43.1%	42.7%	0.4	p
雇用保険あり	2.8%	3.2%	-0.4	p
労災保険あり	3.7%	4.6%	-0.9	p

表 4 三多摩地域パート・アルバイト募集時給および労働条件の変化（2021 年← 2020 年）

	今年度	前年度	前年度比	
三多摩平均時給額	1,126	1,121	5	円
三多摩最低時給額	1,013	1,013	0	円
三多摩最高時給額	2,100	2,500	-400	円
三多摩時給最頻額	1,050	1,013	37	円
三多摩時給中央値	1,050	1,050	0	円
交通費あり	86.5%	85.2%	1.3	p
昇給あり	38.0%	35.9%	2.1	p
別途手当あり	8.6%	17.4%	-8.8	p
有休あり	19.2%	25.6%	-6.4	p
退職金あり	2.4%	5.1%	-2.7	p
社会保険あり	34.5%	41.4%	-6.9	p
雇用保険あり	3.4%	4.0%	-0.6	p
労災保険あり	4.7%	4.0%	0.7	p

であるため、このようなズレが生じる一因として考えられる。

2 2021 年調査の結果

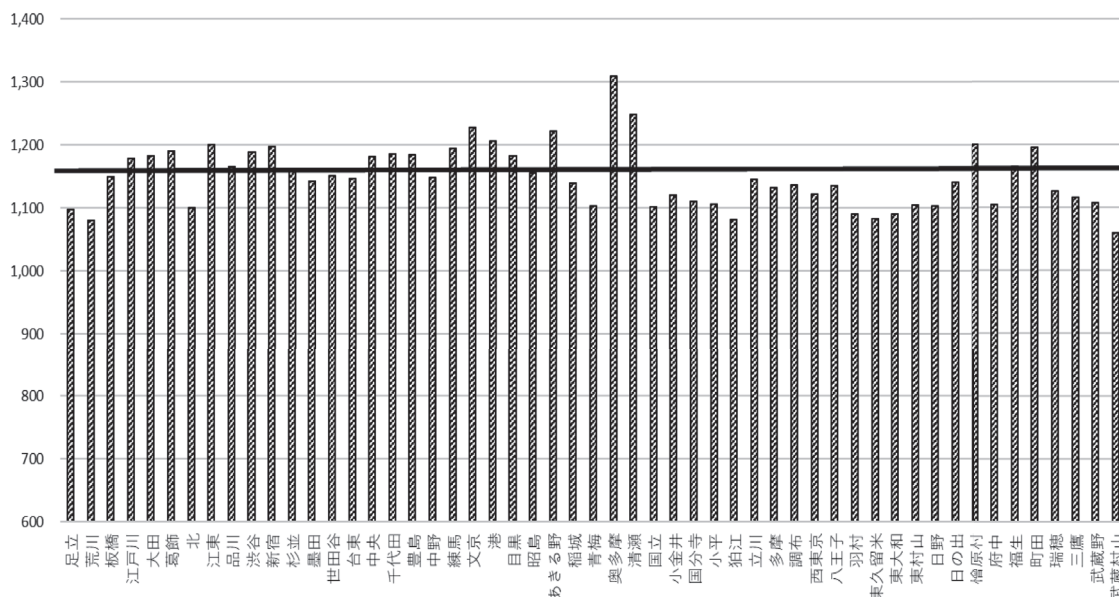
東京都内のパート・アルバイトの募集時給の平均額は 1,161 円で、前年比 10 円アップしている。なお、先述したように本調査は事業所（店舗）が募集しているパート・アルバイトの時給額等を調査したものであり、実際にはたらいっている労働者の労働条件の調査ではない。2021 年は最低賃金が 10 月に改訂され 28 円アップしているので、最賃増加額ほどは都内のパート・アルバイトの募集時給の平均額はアップしていないことが確認できる（表 2 参照）。ちなみに、パート・アルバイトの募集時給の最頻額や中央額は前年から変化していない。

都内を 23 区内と三多摩地区に分けてみると、23 区内の平均額が前年比 9 円アップで最

頻額や中央値には変化はないのに対して、三多摩地区では、平均額は前年比で 5 円アップに止まっているものの、最頻額は 37 円アップしており、最賃の改定幅 28 円を上回っている（表 3 および表 4 参照）。時給の水準は、23 区内のほうが平均額 1,161 円を上回っている自治体が多く、高めの水準となっている（図 3 参照）。

職種別にみると、保健師、看護師、歯科衛生士などの国家資格が必要な職種や、顧客からのクレームに対応しなければならないコールセンターは比較的高い募集時給であるいっぽうで、ほとんどの職種では最賃 2 割増以下の水準に過ぎず、最頻時給額が最賃額 1,041 円である職種も少なくない。なかでも介護や保育の現場で働くケア労働者の平均時給額は全職種の平均と同じ 1,161 円であり、その専門性に見合っているとは決して言えない時給額で募集されている（表 5 参照）。また、前年度から変化をみると、多くの職種でパート・アルバイトの募集

図 3 自治体ごとの募集時給平均額（2021 年）



(注) 横線は、全都平均額 1,161 円のライン

表5 職種別パート・アルバイト募集時給および労働条件（2021年）

職種	時給 平均	最低 時給額	最高 時給額	時給 最頻額	時給 中央額	交通費 あり	昇給 あり	別途手当 あり	有休 あり	退職金 あり	社会保険 あり	雇用保険 あり	労災保険 あり
薬剤師	1,900	1,300	2,200	—	1,950	100.00%	37.50%	37.50%	0.00%	0.00%	50.00%	0.00%	0.00%
看護師、歯科衛生士など (国家資格を有する医療従事者)	1,701	1,041	2,400	1,600	1,700	93.50%	48.40%	16.10%	17.20%	2.20%	47.30%	8.60%	7.50%
コールセンター	1,386	1,100	2,200	1,100	1,400	85.20%	36.10%	13.10%	34.40%	0.00%	65.60%	1.60%	1.60%
業務請負業における製造作業	1,264	1,041	1,500	—	1,250	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
物品配送ドライバー	1,170	1,041	1,450	1,100	1,150	81.80%	24.20%	12.10%	18.20%	3.00%	36.40%	0.00%	0.00%
娯楽場等の接客	1,150	1,041	2,000	1,050	1,100	95.80%	78.90%	8.50%	7.00%	0.00%	36.60%	0.00%	0.00%
受付、案内	1,144	1,041	1,600	1,100	1,100	89.00%	37.00%	8.20%	27.40%	6.80%	41.10%	8.20%	6.80%
料理品デリバリー	1,167	1,050	1,300	1,200	1,175	77.80%	72.20%	0.00%	0.00%	0.00%	16.70%	0.00%	0.00%
営業、販売、登録販売員	1,157	1,041	1,500	1,050	1,100	90.90%	33.30%	6.10%	27.30%	0.00%	48.50%	3.00%	9.10%
ビル・施設清掃作業、マンション管理	1,160	1,013	2,000	1,200	1,145	96.10%	6.70%	12.70%	46.40%	5.20%	29.00%	2.30%	4.50%
一般事務、医療事務	1,167	1,041	2,000	1,100	1,100	82.40%	41.80%	6.60%	19.40%	0.70%	52.70%	8.40%	7.70%
服装・宝飾販売	1,102	1,041	1,200	1,200	1,050	100.00%	57.90%	10.50%	21.10%	0.00%	68.40%	0.00%	0.00%
居酒屋型飲食店店員	1,133	1,041	1,500	1,100	1,100	83.70%	70.20%	4.30%	2.10%	0.00%	21.30%	3.50%	3.50%
倉庫内作業、客室清掃、軽作業、警備員	1,125	1,041	1,800	1,041	1,097	85.90%	17.70%	9.90%	22.80%	0.60%	48.50%	2.30%	4.20%
ガソリンスタンド店員(灯油巡回販売員含む)	1,166	1,050	1,400	1,050	1,300	87.50%	87.50%	43.80%	0.00%	0.00%	62.50%	0.00%	0.00%
レジ担当者	1,075	1,041	1,400	1,041	1,050	90.70%	18.60%	4.70%	27.90%	0.00%	39.50%	1.20%	2.30%
軽作業以上の作業員 (土木、造園、廃品回収、機械整備など)	1,185	1,013	1,500	1,050	1,150	89.70%	37.90%	17.20%	10.30%	0.00%	24.10%	0.00%	3.40%
食料・飲料品販売	1,110	1,041	1,500	1,050	1,070	67.60%	62.00%	4.20%	22.50%	0.00%	69.00%	0.00%	0.00%
調理・調理補助	1,117	1,041	1,600	1,100	1,100	93.90%	41.60%	9.80%	30.40%	1.90%	47.70%	2.30%	2.30%
食料品・食品原料製造	1,086	1,041	1,300	1,041	1,050	89.30%	30.30%	6.60%	27.00%	1.60%	39.30%	2.50%	4.10%
ファストフード店店員	1,093	1,041	1,400	1,050	1,050	76.80%	71.40%	7.10%	30.40%	7.10%	53.60%	0.00%	0.00%
店頭取次ぎサービス・レンタル取扱い店員	1,077	1,041	1,200	1,041	1,050	90.90%	63.60%	0.00%	9.10%	0.00%	54.50%	0.00%	0.00%
レストラン・ファミリーレストラン店員	1,119	1,041	1,600	1,100	1,100	87.90%	64.70%	5.30%	12.10%	0.00%	36.50%	3.10%	3.10%
コンビニエンスストア店員	1,084	1,041	1,438	1,041	1,050	59.30%	50.00%	1.90%	18.50%	0.00%	18.50%	0.00%	0.00%
介護職員、保育士、送迎ドライバー	1,161	1,041	2,200	1,100	1,100	92.10%	42.90%	15.80%	20.80%	2.60%	53.80%	3.60%	4.60%

(注) 薬剤師および業務請負業における製造作業は、サンプル数がそれぞれ3と8と少ないため、時給最頻額は記載しない。

表6 職種別パート・アルバイト募集平均の推移（2021年
← 2020年）

職種	平均時給(円)			引上(下) 率(%)
	2021年度	2020年度	金額差	
薬剤師	1,900	2,067	-167	-8.1
看護師、歯科衛生士など	1,701	1,617	83	5.1
コールセンター	1,386	1,454	-68	-4.7
業務請負業における製造作業	1,264	1,173	91	7.7
物品配送ドライバー	1,170	1,170	-1	0.0
娯楽場等の接客	1,150	1,209	-58	-4.8
受付、案内	1,144	1,162	-18	-1.6
料理品デリバリー	1,167	1,118	49	4.4
営業、販売、登録販売員	1,157	1,148	10	0.8
ビル・施設清掃作業、マンション管理	1,160	1,127	34	3.0
一般事務、医療事務	1,167	1,151	16	1.4
服装・宝飾販売	1,102	1,047	55	5.2
居酒屋型飲食店店員	1,133	1,129	4	0.3
倉庫内作業、客室清掃、軽作業、警備員	1,125	1,105	19	1.8
ガソリンスタンド店員(灯油巡回販売員含む)	1,166	1,132	34	3.0
レジ担当者	1,075	1,049	26	2.5
軽作業以上の作業員(土木、造園、廃品回収、 機械整備など)	1,185	1,174	11	0.9
食料・飲料品販売	1,110	1,094	16	1.5
調理・調理補助	1,117	1,088	29	2.7
食料品・食品原料製造	1,086	1,069	16	1.5
ファストフード店店員	1,093	1,170	-76	-6.5
店頭取次ぎサービス・レンタル取扱い店員	1,077	1,034	43	4.1
レストラン・ファミリーレストラン店員	1,119	1,083	36	3.3
コンビニエンスストア店員	1,084	1,067	18	1.7
介護職員、保育士、送迎ドライバー	1,161	1,182	-20	-1.7
全業種	1,161	1,151	10	0.8

時給が多少なりともアップしているなかで、コールセンターや娯楽場等の接客でダウンしているのは、コロナ禍による経営状況の悪化を反映しているためだと考えられる（表6参照）。

3 パート・アルバイト募集時給の推移——最低賃金との関係

パート・アルバイトの募集時給および労働条件のこの十数年の推移を示したのが表7である。また、そこからパート・アルバイトの募集時給（平均額、最頻額、中央値）と最賃との関係をピックアップして示したのが図4である。

かつては最賃の水準よりもかなり高い水準であったパート・アルバイトの募集

表7 東京都パート・アルバイトの募集時給および労働条件の推移（2009年～2021年）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全都平均時給額	1,066	1,128	1,082	1,079	1,020	1,048	1,034	1,050	1,080	1,088	1,150	1,151	1,161
全都最低時給額	791	800	837	750	850	888	840	910	932	900	920	930	1,013
全都最高時給額	2,500	2,600	3,250	2,600	3,000	2,610	2,600	2,600	2,600	2,700	2,250	2,800	2,400
全都時給最頻額	900	900	900	850	900	1,000	910	1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100
全都時給中央値	950	950	950	950	950	950	960	1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100
昇給あり	29.0%	30.6%	24.6%	29.5%	23.0%	18.3%	28.5%	18.8%	18.5%	21.7%	31.7%	36.2%	33.4%
別途手当あり	11.1%	12.4%	22.8%	21.1%	19.4%	12.8%	16.3%	16.6%	19.5%	21.0%	17.9%	16.3%	10.1%
年休あり	24.5%	30.0%	23.2%	27.9%	26.3%	24.8%	27.2%	24.5%	31.0%	28.2%	26.1%	25.1%	27.6%
退職金あり	1.6%	2.8%	3.1%	2.5%	1.3%	1.3%	1.4%	0.3%	2.0%	1.6%	2.8%	3.4%	2.4%
通勤手当あり	86.1%	85.5%	77.9%	87.2%	87.7%	98.8%	88.4%	90.8%	90.1%	90.0%	91.4%	89.6%	89.6%
社会保険あり	23.8%	29.9%	27.6%	30.8%	26.2%	25.7%	36.2%	24.1%	26.7%	32.1%	37.2%	42.2%	40.4%
雇用保険あり	2.5%	4.7%	6.0%	2.4%	4.2%	4.1%	11.0%	4.1%	3.6%	2.8%	3.2%	3.5%	3.0%
労災保険あり	2.2%	1.9%	1.9%	1.4%	3.0%	2.3%	3.9%	3.6%	4.3%	3.1%	4.0%	4.1%	4.0%
最低賃金額	791	821	837	850	869	888	907	932	958	985	1,013	1,013	1,041

時給は、近年では最賃に接近してきており、最賃2割増の近傍ライン内に収まっている。ちなみに、本誌 No.109 掲載の拙稿「全国チェーン店時給調査：地域から時給格差なくす取り組みを」は、2016年から2017年にかけて全国チェーン展開するコンビニや居酒屋、ファストフード店等の9業種、14チェーン店におけるパート・アルバイトの募集時給調査の結果をまとめたものであるが、多くのコンビニやファストフード、ファミレスなどは最賃に対して2割増未満であり、とくにコンビニについては110%未満が多く、最賃より1～2円程度上回るだけで“露骨”に最賃に張り付いている実態を明らかにした。同様の傾向が2013年あたりを境にして本調査でもみられ、東京においても毎年10月の最低賃金改定がパート・アルバイトの時給に大きな影響をもたらしていることを意味する。

また、地域別にみると、23区よりも三多摩地区のほうがより最賃に張り付く傾向が年々強くなっていることが確認できる（図5および図6参照）。さらに、

図4 東京都パート・アルバイト募集時給と最賃額の推移

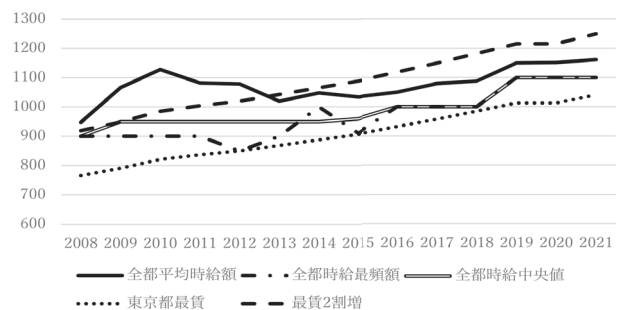


図5 23区内パート・アルバイト募集時給と最賃額の推移

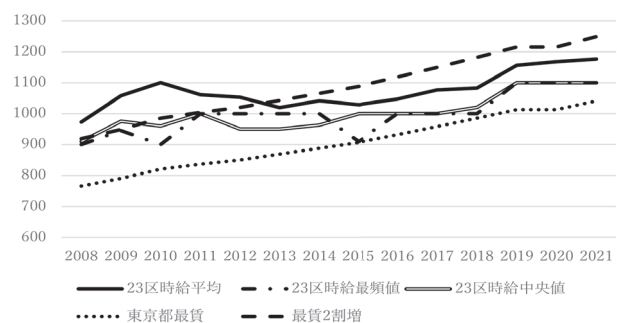
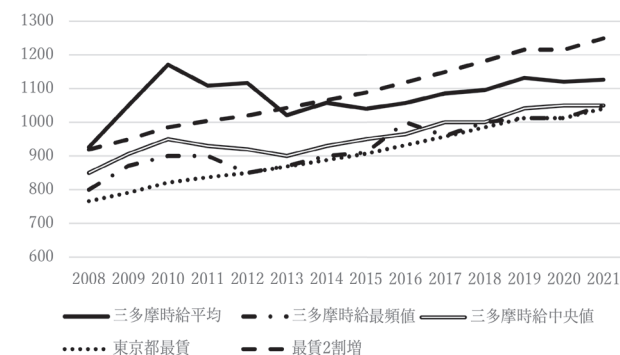


図6 三多摩地区パート・アルバイト募集時給と最賃額の推移



労働条件もこの十数年の推移をみると、それほど大きな変化はみられないが、「社会保険あり」の割合がこの数年に増加傾向がみられる。これは2016年10月より始まった厚生年金の短時間労働者への適用拡大が影響しているのかもしれない。

4 コロナ禍がパート・アルバイトの募集時給にもたらした影響

2020年からの新型コロナウイルス感染症は、パート・アルバイトの募集時給にどのような影響をもたらしたのだろうか。表8は、職種別の募集時給（平均額）について、コロナ禍前後の

2018年から2021年の推移である。最賃2割以上に位置する職種に大きな変動がなかった一方で、平均額や最賃1割増に満たない職種数は減少している。とくにコロナ禍直後の2020年には、最賃1割～2割増のなかに含まれる職種数が増えて、最賃にぴったり張り付いている職種は一旦少なくなったようである。個別のランキングをみると、多くの職種でそれほどランキングに変化がなかったなかで、一般事務・医療事務の時給ランクが上昇する一方で、娯楽場等の接客業では下降している。コロナ禍によるライフスタイルの変化等の影響によるものと考えられる。

表8 職種別パート・アルバイト募集平均時給ランクのコロナ禍前後の推移（2018年→2021年）

2018年（平均＝1,088円、最賃＝985円）			2019年（平均＝1,150円、最賃＝1013円）		
最賃2割↑	薬剤師	2,175	最賃2割↑	薬剤師	2,167
	看護師、歯科衛生士など	1,733		看護師、歯科衛生士など	1,693
	娯楽場等の接客	1,217		ガソリンスタンド店員(灯油巡回販売員含む)	1,500
	軽作業以上の作業員 (土木、造園、廃品回収、機械整備など)	1,213		コールセンター	1,298
	コールセンター	1,165	最賃1割↑	娯楽場等の接客	1,208
全業種平均↑最賃1割↑	物品配送ドライバー	1,126		業務請負業における製造作業	1,207
	料理品デリバリー	1,120		介護職員、保育士、送迎ドライバー	1,204
	介護職員、保育士、送迎ドライバー	1,099		物品配送ドライバー	1,154
	店頭取次ぎサービス・レンタル取扱い店員	1,063		居酒屋型飲食店店員	1,144
	ビル・施設清掃作業、マンション管理	1,054	最賃1割↑	ビル・施設清掃作業、マンション管理	1,131
全業種平均↑最賃1割↑	営業、販売、登録販売員	1,051		軽作業以上の作業員 (土木、造園、廃品回収、機械整備など)	1,128
	倉庫内作業、客室清掃、軽作業、警備員	1,050		一般事務、医療事務	1,127
	食料品・食品原料製造	1,044		ファストフード店店員	1,112
	調理・調理補助	1,040		レストラン・ファミリーレストラン店員	1,105
	受付、案内	1,039	最賃1割↑	受付、案内	1,096
全業種平均↑最賃1割↑	レストラン・ファミリーレストラン店員	1,039		料理品デリバリー	1,094
	一般事務、医療事務	1,038		食料・飲食物品販売	1,092
	居酒屋型飲食店店員	1,034		食料品・食品原料製造	1,092
	レジ担当者	1,034		倉庫内作業、客室清掃、軽作業、警備員	1,091
	服装・宝飾販売	1,029		営業、販売、登録販売員	1,085
全業種平均↑最賃1割↑	食料・飲食物品販売	1,023	最賃1割↑	調理・調理補助	1,082
	ファストフード店店員	1,017		レジ担当者	1,080
	ガソリンスタンド店員(灯油巡回販売員含む)	1,000		コンビニエンスストア店員	1,077
	コンビニエンスストア店員	1,000		店頭取次ぎサービス・レンタル取扱い店員	1,076
				服装・宝飾販売	1,073

おわりに パート・アルバイトの募集時給は適正なのか

冒頭で述べたように、東京地方労働組合評議会（東京地評）では最低生計費試算調査を2019年に実施し、25歳の若者が普通に一人暮らしをするために必要な費用をマーケット・バスケット方式により算定している。その調査結果をふまえると、現行の最低賃金額では普通の生活を実現することは困難という結論となる。今回のパート・アルバイト募集時給調査で、この水準を満たしているのは、薬剤師や看護師など数職種に過ぎなかった。ほとんどの職種は、

健康で文化的な生活（＝普通の生活）を送ることは難しいのである。

最低賃金法9条2項には、最低賃金の考慮要素として、労働者の生計費、賃金、事業の賃金支払能力の3つが挙げられており、なかでも労働者の生計費は、同条3項において「労働者の生計費を考慮するに当たっては、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう」とあるように、相当に重視されている。にもかかわらず、実際に最低賃金額を協議し決定する場である最低賃金審議会には、労働者の生計費に関するまともな資料は提供されていない。

コロナ禍による生活困窮者の急増は、現在の

2020年（平均＝1,151円、最賃＝1013円）	
薬剤師	2,067
看護師、歯科衛生士など	1,617
最賃2割↑ コールセンター	1,454
-----	-----
娯楽場等の接客	1,209
介護職員、保育士、送迎ドライバー	1,182
軽作業以上の作業員 （土木、造園、廃品回収、機械整備など）	1,174
業務請負業における製造作業	1,173
物品配送ドライバー	1,170
ファストフード店員	1,170
受付、案内	1,162
全業種平均↑	1,151
-----	-----
一般事務、医療事務	1,148
営業、販売、登録販売員	1,148
ガソリンスタンド店員（灯油巡回販売員含む）	1,132
居酒屋型飲食店店員	1,129
ビル・施設清掃作業、マンション管理	1,127
最賃1割↑ 料理品デリバリー	1,118
-----	-----
倉庫内作業、客室清掃、軽作業、警備員	1,105
食料・飲料品販売	1,094
調理・調理補助	1,088
レストラン・ファミリーレストラン店員	1,083
食料品・食品原料製造	1,069
コンビニエンスストア店員	1,067
レジ担当者	1,049
服装・宝飾販売	1,047
店頭取次ぎサービス・レンタル取扱い店員	1,034

2021年（平均＝1,161円、最賃＝1041円）	
薬剤師	1,900
看護師、歯科衛生士など	1,701
最賃2割↑ コールセンター	1,386
-----	-----
業務請負業における製造作業	1,264
軽作業以上の作業員 （土木、造園、廃品回収、機械整備など）	1,185
物品配送ドライバー	1,170
一般事務、医療事務	1,167
料理品デリバリー	1,167
ガソリンスタンド店員（灯油巡回販売員含む）	1,166
介護職員、保育士、送迎ドライバー	1,161
ビル・施設清掃作業、マンション管理	1,160
営業、販売、登録販売員	1,157
最賃1割↑ 娯楽場等の接客	1,150
-----	-----
受付、案内	1,144
居酒屋型飲食店店員	1,133
倉庫内作業、客室清掃、軽作業、警備員	1,125
レストラン・ファミリーレストラン店員	1,119
調理・調理補助	1,117
食料・飲食料品販売	1,110
服装・宝飾販売	1,102
ファストフード店員	1,093
食料品・食品原料製造	1,086
コンビニエンスストア店員	1,084
店頭取次ぎサービス・レンタル取扱い店員	1,077
レジ担当者	1,075

賃金水準では“溜め”がつかれないという事実を改めてわれわれに認識させることになった。何故、“溜め”がつかれないのか。それは稼得した賃金のそのすべてを日々の生活費に費やしては、たとえば家電製品の買い替え、車検の費用、冠婚葬祭の出費等に対応できないからである。普通の生活とは、いざという時に備えて蓄え（貯金）がある状態なのである。もちろん、“溜め”は金銭的なものだけに限定されない。誰もが遭遇する人生のピンチの際に、互いを支え合えるような人間関係も含まれる。しかしながら、生活するのにカツカツな賃金では、

付き合いや娯楽に費やすことなどできない。コロナ禍のような危機に際しても持続可能な人間らしい生活を保障するためには、きちんと機能する最低規制をつくることが重要であり、最低賃金はその岩盤となるものである。現在、労働運動や一部の政党が掲げている最低賃金 1,500 円という目標は、われわれに普通の生活を取り戻す第一歩であることを改めて強調しておきたい。

（なかざわ しゅういち・静岡県立大学短期大学部
准教授、労働総研理事）